



# 富山県・遼寧省（中国）友好県省締結 40 周年 ～相互往来を契機とした次世代への交流継続に向けて～

富山県生活環境文化部国際課 主事 田村 健

## はじめに

富山県は、中国の東北部に位置する遼寧省と 1984 年に友好県省を締結して以来、幅広い分野で交流を重ねてきました。双方の友好関係は「日中自治体間交流の模範」として、日中両国で表彰され、高く評価されています。2024 年は友好県省締結から 40 周年を迎えたことからさまざまな記念事業を実施しましたので、本稿ではその成果についてご紹介します。

## 両県省トップの相互訪問

4 月、中国共産党遼寧省委員会の郝鵬書記をはじめ、計 18 人の友好代表団が来県しました。書記が来県するのは 14 年ぶりのことで、県では「友好県省締結 40 周年記念祝賀会」を開催するなど、訪問団を歓迎しました。県内経済団体や国際交流団体の代表のほか、富山市出身で元駐中国大使の横井裕氏も参加し、これまで多方面で展開してきた交流協力をさらに進めていくことを確認しました。



記念祝賀会での鏡開き

遼寧省からの友好訪問団が来県して 3 週間余り、新田八朗知事を団長とする富山県友好訪問団が遼寧省を訪れました。現地では①再び郝鵬書記と会見したほか、②議会同士の交流 20 周年を記念した書画展、③県産品を PR する経済交流事業、④研修や留学などで富山県に滞在経験のある中国人で構成される「富山ファン倶楽部」

の設立 20 周年記念祝賀会などが行われました。友好県省締結 40 周年という節目を契機としたさらなる交流協力の強化で合意し、双方は①行政同士、②議会同士、③経済団体同士、④民間交流団体同士の、計 4 つの覚書に署名しました。



新田知事（左手前）が友好訪問団として訪中し、郝鵬書記（右手前）と再会し会見

これらの相互訪問を受けて、両県省の交流はさまざまなレベルで活発になりました。知事訪中の 2 週間後には遼寧省人民代表大会の代表団が富山県議会を訪問し、書道・写真展を富山県でも開催したほか、遼寧－県内企業セミナー・懇談会を通じて経済協力のさらなる活性化に向けて相互理解を図りました。

また知事訪中期間中に、中国南方航空から富山と大連（遼寧省）を結ぶ定期航空路線の運航再開に向けた方針が示されたことを受け、6 月にはコロナ禍以降 4 年 4 カ月間運休していた双方の「空の懸け橋」が復活しました。

さらに、黒部市に拠点を構える企業が大連市に進出している縁で交流の機運が高まったことを受け、9 月に武隈義一黒部市長が訪中し、大連市との友好協力関係締結議定書に署名しました。11 月には大連市から行政や経済関係者が相次いで黒部市を訪れており、今後は富山－大連便を生かした民間往来の促進や観光誘客、経済、文



化、教育など双方が関心を持つ分野での協力進展が期待されます。



運航再開初便が到着し、ウォーターサルトで歓迎

## 次世代の友好を担う青少年の育成

両県省は、これまで積み上げてきた友好を次世代へつなげるための担い手育成が重要と認識していることから、5月の知事訪中時に遼寧省で署名した行政同士の覚書にも青少年の相互理解の増進を盛り込んでいるほか、知事は中国人民対外友好協会を訪ね、同協会から青少年相互交流への支援を約束いただきました。また、9月には呉江浩・駐日中国大使も来県され、本県が40年間続けてきた地方交流を評価いただくとともに、青少年交流のさらなる促進への後押しをしていただきました。

これを受けて本県では、9月に県内の大学生など35人を遼寧省へ派遣し、これまで県職員派遣や奨学金支給などで本県と縁の深い瀋陽師範大学の日本語学科に通う大学生と交流を行いました。大学生たちは中国伝統文化体験や記念植樹、学食での交流などを通じて仲を深めました。帰国前夜の成果発表会にも中国側学生が駆け付け、別れを惜しむとともに再会を約束しました。



双方の学生たちによる「遼寧－富山友誼林」の植樹

2カ月後、瀋陽師範大学の学生30人が来県し、世界遺産の五箇山合掌造り集落をはじめとした県内視察や、富山大学での中国語を学ぶ学生たちとの交流、日本伝統文化体験などを実施しました。なかでも、双方の大学生が再会する場となった夕食会では、両県省の学生が相互訪問の感想を語るとともに、中国側学生からのさまざまなパフォーマンスもあり、大いに盛り上がりました。富山を出発する日には、富山県側の大学生たちがプライベートで見送りに訪れて名残を惜しむ姿があるなど、一連の青少年交流によって確かな友情が芽生えていました。本県では、このような若者同士の交流を通じて深めた相互理解を基礎として、両県省の次の40年を支える人材を今後も育成していきたいと考えています。



双方の学生がさまざまな言語で交流

## むすびに

富山県は日中国交正常化に大きく貢献された故・松村謙三先生の故郷であり、本県では遼寧省の日本語学生に対して松村先生の名を冠した奨学金の支給を30年間継続するなど、遼寧省での日本・富山県の理解増進に向けた取り組みを進めてきました。友好県省締結40周年となった1年間で得られたさまざまな成果が両県省の友好のさらなる発展につながり、ひいては両県省に住む方々が少しでも友好交流の成果を実感できるようになれば、これ以上の喜びはありません。